



令和元年度

医療と介護の連携に関する研修会 を開催します

17
パートナーシップで
目標を達成しよう



ターゲット 17.17

令和元年 12月 19日

郡山市保健福祉部

地域包括ケア推進課

担当：佐久間 順子

TEL：924-3561

SDGs ターゲット 17.17 「公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

医療と介護の円滑な連携とネットワークの強化を図るため、医療機関や介護施設の関係者等を対象に研修会を開催します。

- 日時 12月24日(火) 午後2時～午後4時
- 場所 郡山市労働福祉会館 大会議室(3階)
- 出席者
 - ・市内医療機関の医師、薬剤師、看護師、地域連携やソーシャルワーク業務従事職員等
 - ・市内訪問歯科診療を実施している医療機関の歯科医師等
 - ・居宅介護支援事業所職員
 - ・市内居宅サービス(訪問・通所)事業所職員
 - ・地域密着型サービス事業所職員等 (計200名予定)
- 内容 講演：テーマ「つなごう、地域へ、連携し合おう
その人のために、私たちは何をすべきか」
～在宅緩和ケア充実診療所と、併設する緩和ケアセンターで展開している「心に寄り添う緩和ケアと、人生(生活)の質を高め一人一人の夢や希望を引き出し実現するコミュニティ緩和ケア」について現場での取り組みを聞く～
講師：医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 院長 三浦 正悦 氏
【講師略歴】東北大学医学部卒業
心臓血圧の専門的な治療と内科全般にわたる総合的な治療を行うほか、2002年8月より、緩和ケア期の患者に対して在宅緩和ケア(在宅ホスピスケア)の訪問診療に取り組みられています。
患者の心と体に寄り添う医療と、最先端の診療を提供しつつ、患者の生活の質(QOL)を損なわない治療を目指し活動されています。
講師：医療法人心の郷 緩和ケア支援センターはるか
センター長 大石 春美 氏
【講師略歴】淑徳大学社会福祉学部医療福祉専攻卒業
在宅療養支援診療所の緩和ケア部門として、24時間在宅生活を支援されています。緩和ケアコーディネーターとして在宅緩和ケアの生活の質(QOL)を高める支援に取り組みられています。